

財団法人 横浜企業経営支援財団

# “全国初の広域的産学官連携システムを始動！！”

市外大学  
第1号！

## 東海大学と産学連携協定を締結

～横浜市域をコアにした産学官による地域連携の推進に向けて～

(財)横浜企業経営支援財団は、横浜市内企業の経営を支援する公的支援機関として、市内理工系9大学や(株)知財マネジメント支援機構・金融機関(メガ・地元)等とのネットワークを活用した産学官連携事業を行っています。

財団では、市内企業の産学連携のさらなる機会創出・技術開発を促進するため、全国初の広域的産学官連携システム(横浜をベースとした、全国の大学と市内企業を結びつける産学連携体制)をスタートさせました。本日、市外大学第1号として東海大学と産学連携協定を締結しました(別紙内容)。

全国有数の特許登録件数の実績を有し、産学連携に積極的な東海大学は、2008年4月に東海大学・北海道東海大学・九州東海大学の三大学を統合し、名称を東海大学に統一した20学部・87学科専攻課程の新体制に改編されます。これらの研究シーズを市内企業に結びつけるシステムを整備することは、産学連携の推進を加速することが期待されることから、市外大学として東海大学を第1号の協定先としました。

名実共に、「産学連携と言えば横浜!」と呼ばれることをめざして、横浜市域をコアにした地域連携の推進をはかり、今後も市内企業との連携に強い関心を持つ全国の大学との戦略的提携を積極的に進めてまいります。

市内理工系9大学 = 神奈川大学、関東学院大学、慶應義塾大学、鶴見大学  
桐蔭横浜大学、東京工業大学、武蔵工業大学、横浜国立大学、横浜市立大学

また同日、東海大学から文部科学記者会、科学記者会、神奈川県政記者クラブ、平塚記者クラブに配布されております。

## 別紙

### 横浜企業経営支援財団と東海大学との主な業務提携内容

#### (1)横浜市をコアにした産学官による地域連携の推進

大学が保有する技術シーズの市内企業への活用支援や公的研究開発資金の導入を目指した研究推進体制の編成、ならびに知財の流通や新たな技術開発を促進し、産学官による地域連携を推進します。

#### (2)東海大学シーズと横浜市内企業とのマッチング

財団主催の産学交流サロン(実績120回開催)への東海大学講師派遣、テクニカルショウヨコハマへの出展、東海大学産学連携フェアへの参画など相互協力を行います。これらのイベントを通じて、双方の産学連携コーディネータによる市内企業等とのマッチングをはかります。

#### (3)地域の知財・技術経営人材の育成支援

市内製造業・ベンチャー企業に対して、MOT(技術経営)に関する講座を共同企画・開発し、企業イノベーションのための知財・技術経営の高度化を積極的に支援します。

知財・技術経営を支援するコーディネータ人材を産学官による地域連携で育成し、財団は産学連携支援の人材インキュベーションをめざします。

#### (4)財団が保有する産学官 - 金融連携ネットワークの活用

財団が進める知財マネジメント支援機構や金融機関との戦略的提携による産学官 - 金融連携ネットワークの構築を通じて、産学連携の機会創出から技術評価、融資までのワンストップ支援を行います。東海大学が「横浜産学リエゾン会議」(市内理工系9大学を中心とする産学連携事務局ネットワーク)に参加し、財団のネットワークの拡大・強化をはかります。

#### (5)財団が保有する施設・人材の活用

財団事務所に東海大学の横浜サテライトオフィス機能を持たせることにより、東海大学と市内企業とのアクセスを容易にします。

大学発ベンチャーの立ち上げ初期に対して、知財・技術経営を含めた総合的な経営支援を行います。

横浜企業経営支援財団(IDE C)と東海大学の提携概要図

